

天狗岳山行記

【日程】 2017 年 1 月 28 日（土） & 29（日）

【目的地】 稲子湯より天狗岳（日本二百名山）2,646m 登頂

【ポイント】 雪の北八ヶ岳を楽しむ

【メンバー】 やまたくお（L）、世田、藤田、久保田 J、ハンプブルクの星

第 1 日目：2017 年 1 月 28 日（土）

テント泊山行で雪山を楽しむこと。というわけで昨年 12 月に渋の湯登山口から日帰りピストンで東天狗岳は登頂したが、時間切れで西天狗岳は断念していたのでそのリベンジも兼ねての山行。ルートも変えて稲子湯登山口からにした。稲子湯駐車場（キャパ 10 台）には既に 6 台くらい駐車。



稲子湯登山口ゲート

登山口の稲子湯では積雪は 10cm 程度、しらびそ小屋まではなだらかな登り。しらびそ小屋前のミドリ池は凍結していて雪原になっていた。遠くに冠雪の天狗岳が望めた。小屋からは徐々に緩やかな登りになる。積雪は 20～30cm。途中でアイゼンを装着。中山峠に至る登りはかなりの急登で斜度も 45 度くらいか。本日の一番のきつい登りになる。登りきると 5 分程度で黒百合ヒュッテに到着。



ミドリ池から天狗岳を望む



中山峠直下の急登

テント場には既に 10 張くらい。本日の行程はここまで。早くビールを呑みたい！の一心で雪面をスコップで懸命に整地してテント場を作る。ジャンボは最初我々だけだったが、後から団体さん用なのか 2 張くらい増えていた。

ヒュッテでは水を無料でもらえるという情報であったが、当日は登山客が多いからか、結局もらえず雪を溶かして水 8 リットル作るのに 90 分くらいかかった。



黒百合ヒュッテ・テント場

ビール、日本酒、ワイン、焼酎、梅酒で小宴会の後、キノコ鍋うどんで盛り上がり、19 時半くらいに就寝。しかし 22 時前くらいまで隣の団体さん達が

大声で談笑していてうるさくて入眠を妨げられたのには閉口した。エチケットを守ってほしいなあ。それでも外に出て夜空を見上げると正に満天の星で感激。

第2日目：2017年1月29日（日）

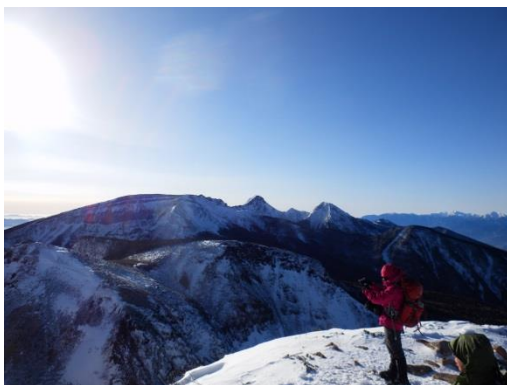
4時半に起床して、お餅入り雑炊の朝食。テント場を出発したのは7時前。

最初からアイゼン装着。東天狗岳の稜線に出ると猛烈な風で時折ブロー（突風）も吹き、飛ばされないようにしっかり歩を進める。積雪も30～40cmぐらいか、トレースはしっかりついているが慎重に登る。東天狗岳山頂に立つと益々風が強く、1分程度ですぐに西天狗岳を目指す。西天狗岳にとりかかると嘘のように風は収まり20分程度で西天狗岳山頂に立つ。昨年12月は東天狗岳山頂のみで西天狗山頂には時間切れで立てなかったのが感慨深い。山頂はだだっ広くて15人くらいは居た。ヘルメットを被った登山者が増えてきた印象あり。

この日の予報は当初はあまり芳しくなかったが、実際には天候に恵まれて山頂からは360度の大展望。北西には御嶽山や中央アルプスもよく見えた。南には主峰赤岳と横岳、硫黄岳、東には東天狗岳など。風が強く冬山の澄み切った青空と冠雪の山々の頂のコントラストの眺望が最高だった。暫し写真タイム。



西天狗岳山頂にて



赤岳主峰

西天狗岳からの下山途中、稲子岳、中山峠を眼下に見たときに救難ヘリが何度もホバリングを繰り返して救助活動をしていたのが見えた。滑落者の救助かもしれない？黒百合ヒュッテ・テント場に戻り、テント撤収して下山開始。中山峠からの急な下りはピッケルとアイゼンを効かせてトレースを踏んで慎重に下山した。しらびそ小屋で小休止後、13時頃に稲子湯ゲート登山口に戻る。

下山後は八峰の湯に入湯。露天風呂からは天狗岳、横岳、赤岳の八ヶ岳が眺望出来て最高だった。ここはお勧めです。

この冬初めての厳冬期の雪山でのテント泊山行は寒さとの格闘で体力的にも少しきつかったが、新調した冬靴（ザンバラン）とシュラフの効果もあり、全体として大いに雪山山行を楽しめた。

【行程】

第1日目：2017年1月28日（土）

4:00 浜松集合地出発。

8:30 稲子湯の登山口ゲート到着。9:00 登山口スタート。

11:00～11:15 しらびそ小屋到着。

13:20 黒百合ヒュッテ到着。

第2日目：2017年1月29日（日）

4:30 起床。

7:00 テントをそのままにして出発。

8:10 東天狗岳山頂

8:25 西天狗岳山頂（2,646m）

9:40 黒百合ヒュッテ・テント場に戻る。

10:40 テント撤収して下山開始。

11:50～12:10 しらびそ小屋で小休止。

13:05 稲子湯ゲート登山口に戻る。

20:00 浜松集合地帰着。

文：ハンブルクの星